



第2回地域包括ケア病棟リハビリテーション実践講座

～地域包括ケア病棟に求められる^{ピーオーシー}POC (Point of Care) リハビリテーション～

平成28年度、地域包括ケア病棟は新設以来初めての診療報酬改定を迎えました。この2年間、地域包括ケア病棟はそれぞれの地域の中で、果たすべき役割を模索してきました。今回の診療報酬改定は、平成30年同時改定に向けて大きく舵を切り、「ときどき入院、ほぼ在宅」という流れがいつそう本格化してきたと言えるでしょう。地域包括ケア病棟も、これまで以上に在宅・生活復帰にフォーカスすべきで、患者さんの退院後の在宅生活がうまく運ぶかどうかは、入院中のリハビリテーション次第と言っても過言ではありません。これからは、必要な場面ですぐに介入し、日常動作の中で、生活に密着したりリハビリテーションを行うことが、患者さんご家族の退院後の不安を安心に変えることにつながります。本研修会では、^{ピーオーシー}POC (Point of Care) リハビリテーションやRIDL (Rehabilitative Intervention for Daily Living) といったリハビリテーションの事例を、参加者の皆様とともに学びたいと考えております。奮ってご参加ください。

地域包括ケア病棟協会 会長 仲井 培 雄

プログラム (予定)

平成28年5月29日 (日) 会場：東京研修センター

10:30～11:20 講 演 地域包括ケア病棟協会会長 仲井培雄

11:20～12:30 基調講演 博愛記念病院 理事長 武久洋三

12:30～13:20 昼 食

13:20～14:10 先行事例①
芳珠記念病院 リハビリテーションセンター主任 作業療法士 合歓垣紗耶香

14:10～15:00 先行事例② HITO病院 リハビリテーション科科长 作業療法士 山田太一

15:10～16:00 先行事例③ 世田谷記念病院 主任 理学療法士 松木亨

*プログラムの内容につきましては、若干変更になる場合があります。予めご了承ください。